

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、200万人達成

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下ジェットスター・ジャパン)は、就航から2013年8月12日までの搭乗者総数が200万人を超えたことをお知らせいたします。

ジェットスター・ジャパンは2012年7月3日に運航を開始して以来、搭乗者数は順調に推移していましたが、2013年に名古屋、大分、鹿児島、松山という魅力的な国内観光地への相次ぐ就航とともにそのペースは加速しており、2013年3月22日に100万人目のお客様をお迎え後21週、2012年7月就航から第58週目に搭乗者数200万人を本邦LCCとしては最速で達成できました。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。「LCCとして最速で200万人を達成できましたことを大変嬉しく思い、ご搭乗頂きましたお客様に心からお礼を申し上げたいと思います。ジェットスター・ジャパンは国内線拡充を優先しており、現在成田において、最大の国内線運航便数を提供するまでに成長しました。国内旅行のコストパフォーマンスの概念を変えつつあり、ジェットスターグループを通じ日本の観光地の魅力を国内外に訴求することによって、観光立国化の一翼を担い、地域の観光業や経済振興に貢献したいと思えます。」

本日、成田国際空港にて行われました搭乗者数200万人達成セレモニーにおいて、ラッキーウィナーとなりました成田＝大分路線搭乗予定のお客様に記念品とジェットスターフライトバウチャー5万円分が贈呈されました。ラッキーウィナーとなりましたお客様は以下のように述べました。「ジェットスターの大分就航で気軽に東京観光に来られるようになりました。大分県の自慢は別府地獄めぐり、大分マリンパレス水族館『うみたまご』、食べ物ではとり天です。ジェットスターのフライトバウチャー5万円は札幌へ行くのに使いたいと思います。東京経由ですので、東京と札幌の両方で食べ歩きを満喫する予定です。今後も飛行機はお手頃なジェットスターに乗るつもりです。」

なお、搭乗者数200万人達成の感謝の気持ちを込めて、本日8月13日(火)17:00より「国内線搭乗者200万人感謝セール」を行います。詳細はジェットスターホームページ jetstar.com をご覧ください。

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会、中部国際空港記者会、番町記者クラブ、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブへ配布しています。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長している LCC です。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013 年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の 62 都市に週 3,500 便を運航しています。2012 年会計年度には、ジェットスターグループ全体で 2,060 万人超のお客様にご利用頂きました。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航した LCC であり、2013 年 3 月より名古屋と大分、5 月より鹿児島、6 月より松山にも就航しています。国内線就航時には、A320 型新造機 3 機(180 席)で運航を開始しており、現在は 13 機で運航しています。また今後、24 機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。